

平成29年1月18日

## 1. 現地調査結果

|          | 件数  | 割合     | 備考  |
|----------|-----|--------|---|
| 現地調査件数   | 909 | 100.0% |   |
| 空家等件数    | 167 | 18.4%  |   |
| 空家ではない件数 | 547 | 60.2%  |   |
| 判断できない件数 | 118 | 13.0%  | ・電気メータが動いている。<br>・パンクした車がある。<br>・公道からでは確認出来ない。等 |
| 駐車場・更地件数 | 50  | 5.5%   |   |
| 不明件数     | 27  | 3.0%   | 住所が不明。  |

## 2. 現地調査時の状況

1. 周辺住民より、空き家と思われる所有者とのトラブルはできれば避けたいので、市で対応して欲しい。(主なものとしては、ゴミ・雑草・蜂の巣 etc)
2. 地域住民の方たちは、空家等調査に対してとても協力的であった。
3. 外観から空き家に見えても住んでいることが多かった。  
一人暮らし(高齢者や男性)
4. 現地調査において、公道からの外観調査だけでは空家等と限界があった。
5. 実態は倉庫として使用しているが、近所の住民は、住んでいなければ空き家と認識しているようであった。

## 3. 分析・考察について

1. 外観調査結果より第三者が建物内に入ることが可能な建物もあり、不法侵入によるたまり場となる他、不審火・放火の恐れがある。
2. 対象建物等が老朽による損壊等で隣地や往来が多い道路を通行する車両・歩行者に危害を及ぼす恐れがあり、その原因となる危険物(当該建物、塀、樹木等)は撤去などをする必要がある。
3. 現在ある空家等への対応と今後発生する空家等への対策の両方に対して考えていく必要がある。